



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2015年8月②号

残暑お見舞い申し上げます。

7月から猛暑が続く、厳しい夏も、もうしばらくは残暑が続きます。健康にはくれぐれもお気を付けいただきたいと思ひます。



今年の夏は原水禁世界大会・長崎に参加し、お盆には、福島県に訪問・ボランティアに参加して来ました。学びや出会いの夏となりました。引き続き、市民の暮らしや命、平和を守るためにより一層頑張る決意です。



被爆者の声を聴く ①

写真は『谷口すみてる』さんです。大会の開会式、閉会式、青年の広場でお話を伺いました。長崎平和祈念式典でも被爆者代表として、ご挨拶をされ、戦争法案への反対の意思表示をされました。下の写真はこれまでに、見る機会がありましたが、そのご本人である谷口さんのお話を聴き、被ばくの苦しみ、核兵器廃絶への強い思いを実感しました。



郵便配達をされていた谷口さんは、背中から爆風を浴び、1年半もうつ伏せの寝たきりで治療を受け、胸に床ずれができたそうです。殺してくれ」とうなされたながらも、堪えぬいたので。

福島ボランティアへ ①

8月14日には、9月5日から避難解除される楡葉町の大圓山宝鏡寺のご住職早川さんを訪ねました。早川さんは、原発事故が起こる前から、原発の危険性を訴え、脱原発の運動を取り組んでこられた方です。チェルノブイリにも2回も調査に行かれており、いろいろお話を聞かせていただきました。意向調査では8パーセント程度の方しか、戻ってこないとのこと。すでに4年経ち、それぞれの暮らしが落ち着いておられる方もあるでしょうし、除染された土がいまだに、仮置き場に積み上げられている状況です。多くの家がネズミや猪などが家屋に入り込み、かなり改修や掃除をしないと住める状況ではないとのこと。



上写真：宝鏡寺前でのご住職ご夫妻と真ん中が玉本なるみ市議
下写真：お寺の近くにある除染土の仮置き場。



牛越仮設住宅の夏祭り

15日は京都から参加した20人のメンバーで、冷やしうどんを300円で販売し、支援物資として持っていったお米やお茶などをくじ引きで景品として渡しました。前日からだしを取り、手の込んだおうどんで評判でした。



左から玉本なるみ市会議員、浜田よしゆき府会議員、本条府会議員 由科区

娘と参加

アンテナ



70周年の記念の原水禁世界大会・長崎には、なんと職場の労働組合から参加していた次女と会場と一緒に参加しました。親子で参加されている方もありましたが、なかなか嬉しいものですね。



原水禁世界大会の参加となりました。

